

婦選会館ニュース

2017・12月号

玄關に平和の象徴オリーブ実る

発行 公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

E-mail: fitikawa@trust.ocn.ne.jp http://www.ichikawa-fusae.or.jp ☎03-3370-0238 FAX03-5388-4633



激動する社会の中の記念会活動について

(公財)市川房枝記念会女性と政治センター
理事長 山口みつ子

当会を支えて下さる維持員の方をはじめ、ご寄付を下さった方々や各種事業のボランティアの方々のご支援に、先ずは感謝を申し上げます。

お陰様でこの11月15日をもって、当財団は創立55周年を迎えました。1945年12月に婦人参政権が実現したことを記念して、翌46年にバラックの「婦選会館」が建てられました。これは、創設者市川房枝が女性に参政権がない戦前(大正時代)から女性の活動拠点づくりを構想していたもので、事務室・学習・会議室や地方から上京された女性のための宿泊室もつくりました。62年には改築して、政治・時局・婦人問題等の学習、調査、出版を目指す財団法人となり、以後、大小数回の改修工事・耐震工事を経て今日に至っています。

女性解放運動に生涯をかけ、また参議院議員として在職25年の中で選挙と政治の浄化、男女平等参画、戦争のない平和な社会を目指してきた市川房枝の名を知らない女性や若い世代が最近は多くなっています。近年戦争がない時代の中で「平和ボケ」とも評されます。

暮らし・社会保障・福祉・憲法改正・安全保障・「もり」「かけ」問題など、政府与党は丁寧な説明をするといいつながら、先般臨時国会冒頭に衆議院を解散、総選挙を行いました。野党の離合集散でどの党にいたらよいか有権者は選択に迷い、結局10月22日の投開票結果、引き続き自民党一強となりました。投票率は全国平均で53.68%、女性(53.31%)は男性(54.08%)より低く、但し18歳選挙権行使では、女性が男性より高かったという結果でした。

当財団は政治参画の男女平等を目指し、講座等のプログラムを実施し、政治社会の深読みによる判断情報を提供しております。特別維持員の方には『女性展望』を贈呈していますが、読者拡大こそ政治参画を強める基盤でもあります。是非、講座へのご参加や、『女性展望』読者・維持員(男女)を増やすことに協力ください。財政基盤の確立により事業をお支えいただきたいのです。

民主主義の原点をしっかりと把握して創設者の志を受け継ぎ、諸事業を進めることが、当財団の主要な役割であると思っております。



コミュニティバザーご協力誠に有難うございました



2017・2018年度役員 金子監事、久保・山口・日高・菅野執行役員

新年度役員等のご紹介 (2017.6月～) 敬称略

執行役員理事長 山口みつ子 (再任)
 常務理事 日高みさお (再任・財務・人事)
 常務理事 久保公子 (再任・事業)
 常務理事 菅野則子 (新任・法務)
 監事 金子良江 (新任)
 理事 五十嵐暁郎・国広陽子
 進藤久美子・藤原房子
 (再任 50 音順)



金子監事



村越会長

金子幸子・隈部紀生
 中山弘子・林寛子 (新任 50 音順)
評議員会

会長 村越まり子 (新任)
 評議員 上野スズ子・枝松 栄
 大山七穂・坂口和子・松本惟子
 山口美代子 (再任 50 音順)
 篠崎英代・田中由美子
 時井純子 (新任 50 音順)

*【任期 理事2年・監事、評議員4年です】

メールは語る!!
 「出前でトーク
 こんにちはは市川房枝です
 in 一宮」



From: 伊藤 康子
 Sent: Sunday, March 19, 2017
 To: fitikawa@trust.ocn.ne.jp
 Subject: お疲れ様でした



日高様 久保様
 18日の一宮集會お疲れ様でした。
 山口美代子さんに生誕の地に相應しい集會と評価
 されて、生誕の地での集會の意味を改めて感じまし
 ました。私は集中しなければならないことが1つ済んで、
 ぼーっとしていました。
 一宮市の方たちがご当地らしくご自分らしく語られた
 ので、さすがと考えさせられます。
 市川さんが忘れられるのは自然の事とすると、参政権
 を掘り下げる、私は主権者という中味を掘り下げる、
 という方向にしなければならないのでしょうか。
 とすると、もっと難しいのでしょうか。
 ともあれお疲れ様でした。
 今日はまだ風が強く寒く感じられます。ご健康を祈り
 ます。 *伊藤様は市川房枝研究会主任研究員でした

退任された理事・監事・評議員の方々

理事 阿南 久様 市川ミサオ様
 鹿嶋 敬様 金子良江様 角田由紀子様
 監事 住田啓子様
 評議員会
 会長 毛利亮子様
 評議員 隈部紀生様
 鈴木那智子様
 三浦まり様
 住田監事・毛利会長



ご尽力誠にありがとうございました。

事務局職員のご紹介



向かって左から (背の高さは全員中腰です) ★新職員

杉森陽子 主な担当 貸室受付・窓口レジ
 今川淳子 主な担当 女性展望編集・出版庶務
 久保公子 事務局長・女性展望編集長 (兼常務理事)
 清水容子 事務局主任・経理・総務 在職 24 年
 ★東條怜美 事務局常勤・主に維持員管理・総務
 ★二階堂阿弥 事務局常勤・主に出版・WEB
速報 2018年各界女性新年交歓会のご案内
●日時 2018年1月10日(水) 12時30分～14時
●参加費 6,000円(税込) ●締切 12月25日

＜＜維持員＞＞ ご加入をお願いしております
 性別・国籍を問いません

- 維持員の種類(年会費)は
 ① 学生 1,000 円 ② 一般 3,000 円
 ③ 特別維持員 10,000 円～
 ④ 終身維持員 300,000 円～

○維持員の特典は
 ☆維持員費は税額控除対象です! ☆
 ③④の維持員には「女性展望」贈呈
 貸会議室料・講座参加費等の割引・
 本財団刊行物の割引をいたします



2017.11.15 維持員の集い
 第 35 回市川房枝基金助成金贈呈式
 バリテ・キャンペーン実行委員会様

市川記念会を支えて下さる方々から思いを綴っていただきました



私が1999年市川記念会の職員になったとき図書室の女性参政関係史資料保管庫は新たに整備された直後で、天井までの大きなスチールの棚には何もなかった。今そこは、整理された史資料でいっぱい。しかもまだ整理途上で、担当の人たちは貴重な資料の山に嬉しい悲鳴をあげつつ、いつ終わるのかとのため息も洩れている。

市川房枝の年表作成に関わったとき、昭和年代初めの史料を見ることが多かった。紙の劣化で触れば崩れてしまいそうなものも多く当然コピーは無理、久しぶりに手書きでノートに写した。勿論最近の研究者は直接パソコンに入力している。史料閲覧希望の人たちへの担当者の対応は細やかで関連史資料が次々と提示され、保管庫に埋もれたままではなく活かされていく。

閲覧室の手前には開架の棚があり、出版社や著者から寄贈された書籍が並び、500頁に及ぶ研究書から自分史まで様々。貸出しはないのが残念だが、いつも足を止める場所である。

八木博子（東京・世田谷区）



◇小路の奥に立つ展望の灯台◇

偶然に婦選会館の存在を知り、初めて訪れたのは今年の3月末でした。以来、一介の小市民の私が著名な先生方による連続講座、生命を賭けて歩まれた人生を語っていただける、感動の展望カフェの教場に、大きな期待と関心を抱いて通っておりますのは、まるで新たな学び舎を得たように感じるからです。

日々繰り返されるニュースや情報番組の類では決して得られず、知らされず。あるいは失われ、忘れられつつある真実史実が数多ある中、今日の日本を生きる者として、何を知り、考え、出来ることを探さなければならないのか、御講座のすべてが、無学な私の耳目を大きく開かせてくださっています。

それはたとえるなら、まるで世界中から、開国を促すかの号砲が、私を取巻いて鳴り響き渡る心境になるのです。御講座に向かう小路に入ると、奥に見えてくる婦選会館は、今の私の道標、展望を照らし現す灯台です。内藤 薫（東京・品川区）

思い起こせば、私が市川房枝記念会の講座を初めて受講したのは、今から23年前。政治を身近に感じ始めていた矢先、朝日新聞家庭欄に載っていた小さな記事「市川房枝記念会・女性の政治参画セミナー開講」に惹かれ、婦選会館の扉を叩いたのが私の政治参画の第一歩でした。翌1995年統一地方選挙で初当選、以来、学びと実践を両輪に今日に至っています。女性の政治参画を進める上で学習と実践は欠かせません。

「婦選は鍵なり」「平等なくして平和なし、平和なくして平等なし」という市川房枝イズムの背骨がしっかりした様々な講座を受講しています。そして「家族の法的責任」「性暴力に日本社会はどう向き合ってきたのか」「平和国家の誕生-戦後日本の原点を学ぶ」等々を学んできました。

私達が現政権の時代錯誤的な政策に惑わされず、女性の政治参画を進めないと、いつか来た道に突き進んでしまいます。記念会の講座は、まさに女性が民主的ガバナンスの積極的な担い手になるための力をつけるツールです。難しい時代ですが、だからこそ、より多くの女性達に受講して欲しいと思います。そのためにも会館の発信力のより一層の強化を願ってやみません。大河みとこ（東京・調布市）

◇市川房枝記念会からの賜りもの◇

かつて定例の講座に並行して月1回の自主ゼミがあり、故佐竹寛先生（中央大教授）のご指導や仲間との議論による切磋琢磨した時間は私を大きく成長させ、私自身の精神史での根幹となっています。毎月推薦された書籍に関するレポートを提出しての討論でした。先生は折にふれ“人間的であること”“自分自身のモノサシを持つこと”をお教えになりました。

「日本が変わるには女性も変わっていかねければ」というお考えから、メンバーの殆どが主婦である私どものために貴重な時間をゼミに当てていらしたのです。

現在私が婦選会館での講義に足を運ぶのは、講座と佐竹ゼミで鍛えられ、身に付けた“自分自身のモノサシ”が、今日直面している課題にしっかりと向き合っているか検証する意味もあります。市川房枝記念会は過去も現在も大切なものを与えてくれる場であり、感謝しております。山口和興（東京・大田区）

☆公財第4期決算報告財務諸表☆

ダイジェスト(2016. 4. 1-2017. 3. 31)

(単位: 円)

一、貸借対照表 (2017.3.31現在)

I 資産の部	
流動資産	
流動資産計	7,989,234
固定資産	
基本財産	1,575,180
特定資産	48,246,797
その他の固定資産	36,199,938
固定資産計	86,021,915
資産合計	94,011,149
II 負債の部	
流動負債	3,876,456
固定負債	3,208,214
負債合計	7,084,670
III 正味財産の部	
指定正味財産	36,973,515
一般正味財産	49,952,964
正味財産合計	86,926,479
負債及び正味財産合計	94,011,149

三、収支計算書

I 事業活動収支の部	
事業活動収入	
維持員会費収入	3,164,800
事業収入	26,251,554
寄付金収入	4,830,140
受取利息収入	8,665
事業活動収入合計	34,255,159
事業活動支出	
事業費支出	24,546,747
管理費支出	8,713,944
その他(租税)	70,000
事業活動支出合計	33,330,691
事業活動収支差額	924,468
II 投資活動収支の部	
投資活動収入	
特定資産取崩収入	720,712
投資活動支出	
特定資産取得支出	1,059,238
投資活動収支差額	▲ 338,526
当期収支差額	585,942
前期繰越収支差額	▲ 1,454,442
次期繰越収支差額	▲ 868,500

●本財団は税額控除対象法人です!

皆様のご寄付は所得控除として寄付金控除の適用を受けるか、又は税額控除の適用を受けるか、いずれか有利な方を選択することができます。

●本財団は、常時一般寄付金を募っております。一般寄付金は、本財団の管理・運営に生じる費用に充てるものとします。また、必要に応じて本財団の事業に充てることができます。特段のご厚志を賜りますようお願い申し上げます。

二、正味財産増減計算表

I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
維持員受取会費	3,164,800
事業収益計	26,251,554
受取寄付金計	4,274,304
受取利息	8,665
経常収益計	33,699,323
(2) 経常費用	
事業費計	29,985,466
管理費計	9,416,591
経常費用計	39,402,057
当期経常増減額	▲ 5,702,734
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
(2) 経常外費用	0
当期経常外増減額	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 5,702,734
法人税、住民税及び事業税	70,000
当期一般正味財産増減額	▲ 5,772,734
一般正味財産期首残高	55,725,698
一般正味財産期末残高	49,952,964
II 指定正味財産増減の部	
受取寄付金	555,836
指定正味財産期首残高	36,417,679
指定正味財産期末残高	36,973,515
III 正味財産期末残高	
	86,926,479

☆公財第5期収支予算☆

ダイジェスト(2017. 4. 1-2018. 3. 31)

I 事業活動収支の部	
事業活動収入	
維持員会費収入	3,000,000
事業収入	20,552,500
寄付金収入	2,500,000
雑収益	1,490,000
事業活動収入合計	27,542,500
事業活動支出	
事業費支出	16,727,100
管理費支出	14,160,000
予備費	375,400
事業活動支出合計	31,262,500
事業活動収支差額	▲ 3,720,000
II 投資活動収支の部	
投資活動収入	
特定資産取崩収入	4,020,000
投資活動支出	
特定資産取得支出	300,000
投資活動収支差額	3,720,000
当期収支差額	0

【決算予算編成2017.3.評議員会理事会承認 記載責任日高】